

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12310	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	看護職員養成施設移転事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	14年度
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

なし
----

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
平成15年4月に相模原衛生学院看護専門学校が旧磯野台小学校跡地へ移転するため、教育環境の設備等必要な改修工事を行うもの。また、移転に伴い必要な備品整備を行う。	相模原衛生学院看護専門学校
	対象数 1施設
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
施設の概要 ・名称 相模原衛生学院看護専門学校 ・所在地 相模原市新磯野4-1-1 ・工事日程 平成14年度上半 改修工事、下旬 学院移転準備 ・平成14年度予定地管理内容 光熱水費、警備(機械・巡回)、散水、地域開放等の管理を実施	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標								

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費			176,595		
決算(予算)額			176,595		
人員・時間数			2		
人件費			1,600		
その他経費			0		
合計	0	0	178,195	0	0
特定財源			0		
対象数			1		
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	178,195.0	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	説明		相模原衛生学院として使用するための改修工事等であり、十分達成できたと考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
	説明		<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市の事業として看護職員の育成及び確保対策は必須なものであるため、必要性は十分であると認識している。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
	説明		総合計画上、看護職員確保対策事業を推進していく上で有効であると考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
	説明		<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 新規に建物を建設するのと異なり、廃校になった建物の再利用ということで、効率性は十分であると考える。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
	説明		市で改修工事を実施し、衛生学院より使用料を徴収する方法をとるため、公平性は保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 本事業は、臨時的な事業であるため、今後成果向上はない。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/> 継続		総合評価に関する説明 看護職員養成機関としては市立の施設はなく、将来にわたり看護職員確保対策を図るうえで、本事業は必要かつ有効な事業であったと考えている。
<input type="checkbox"/> 見直し		
<input type="checkbox"/> 廃止		
<input checked="" type="checkbox"/> 完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--